

令和7年度
子ども議会 答弁書

【発言順】

令和7年11月15日（土）

1 沼田市のこれからについて

ただいまの 羽山 杏華 議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市のこれからについて、であります。羽山 議員のおっしゃるとおり、本市におきまして人口減少は非常に重要な課題であります。

本市の人口は、平成 17 年の市町村合併時には約 5 万 3 千人でありましたが、その後、年々減少しており、令和 3 2 年時点の推計では、ピーク時の約 5 1 . 2 %、3 万人を下回ることが見込まれております。

こうした状況を踏まえ、本年 1 月に策定した「沼田市デジタル田園都市国家構想総合戦略」におきましては、近年、増加傾向にある若年層の転出を抑制するとともに、転入の促進を図ることが、今後の人口減少の抑制につながるものと位置づけております。

羽山 議員のおっしゃる「若い世代の人々が『また沼田市に戻りたい』『住みたい』と思うまちづくり」は、まさに、本市が目指す方向と同じであります。

ご提案のあった「複合商業施設の誘致」は、多くの方が楽しめる場所をつくり、地域に活気を生み出す有効なアイデアです。

映画館やショッピングモール、フードコートなどが整備されれば、若い世代の利用はもちろん、市内外からの来訪者の増加も期待され、地域経済への波及効果や移住・定住の促進にもつながる可能性があります。

一方で、慎重に考えなければならない点もあります。

大規模な施設の立地により、既存の商店や商店街から活気が失われ、事業者が撤退するなど、地域の空洞化を招くおそれもあります。そのため、地域全体のバランスを保つ工夫が必要です。

また、若い世代が「住み続けたい」と感じるまちにするためには、商業施設の整備だけでなく、働く場の確保、自然や文化を生かした地域の魅力発信、そして地域コミュニティの充実など、総合的な視点からの取り組みも求められます。

「自分たちのまちをより良くしたい」という思いが伝わる大変素晴らしいご提案ではありますが、本市といたしましては、若者の皆さんが

自ら地域の課題を見つけ、起業といった形で挑戦し、複合商業施設に負けない魅力を生み出していくことを大いに期待しております。

また、そうした若者の挑戦をしっかりと応援し、ともに地域を盛り上げてまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、 羽山 杏華 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 道路の修繕について

ただいまの 藤井 寧威 議員のご質問にお答え申し上げます。

道路の修繕について、また、近年多くなっている雪に関する他の対策などがありますか、についてであります。沼田市では、約 1, 410 k m の市道を管理しており、道路の損傷が原因で利用者の安全性が損なわれることのないよう、日常のパトロールや市民のみなさまからの通報等を基に、適宜修繕を実施し、維持管理に努めるとともに、「舗装長寿命化修繕計画」を策定し、効率的な舗装の管理や修繕を行っております。

除雪以外の雪に対する取り組みであります。藤井 議員お住まいの利根町管内の 2 箇所をはじめ、沼田管内の 7 箇所に電気や水を利用した消雪施設を舗装面などに設け、道路の凍結を防いでおります。

また、地域のみなさまが実施する道路除雪につきましては、所定の要件を満たした場合となりますが、除雪活動に係る経費や除雪機械購

入費の一部を助成し、負担軽減を図ることで、円滑な地域活動の支援や推進を図ってまいりたいと考えております。

以上、申し上げます、 藤井 寧威 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 高齢者を介護する人数の減少とその対策について

ただいまの 宮田 妃奈香 議員のご質問にお答え申し上げます。

高齢者を介護する人数の減少とその対策について、であります。少子高齢化に伴う現役世代の減少は、全国的な傾向であり、介護サービスを支える若い世代の人材を育成することは、高齢者が安心して生活していくために重要な課題であります。

宮田議員のおっしゃるとおり、市内に介護福祉士などの資格が取れる進学先があると、地元で介護の仕事に就きたいと考える方の増加につながると考えます。一方で、群馬県内10カ所の「介護福祉士養成施設」の入学者は年々減少を続け、令和5年度の入学者は、入学定員に対して、30.2%と定員を大きく下まわっており、他の多くの仕事の中から介護職を選んでももらえるものにすることが、差し迫った課題となっております。

このため、介護職を目指す方の支援として、県内では、介護福祉士

になるための修学費用の貸し付けや、一度離職した介護人材の再就職に必要な準備金の貸し付けを無利子で行い、一定期間、県内で介護等の仕事に就くことで、返済を全額免除する取り組みを行っております。

その他、就職後の各種研修費用の補助や、働きやすい職場環境づくりに取り組む事業者に対する支援などにより、若い世代の方が、地元で安心して介護の仕事を選んでいただけるよう、引き続き関係機関と連携して取り組んでみたいと考えております。

以上申し上げまして、 宮田 妃奈香 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 学校の統合後の校舎について

ただいまの 大場 奈維 議員のご質問にお答え申し上げます。

学校の統合後の校舎について、であります。まず、小学校・中学校の統合に当たって、双方どちらの校舎を使うようになるか、という基準につきましては、小学校同士及び中学校同士の統合の場合、地域性や通学条件、教室数や施設の老朽化の状況などを踏まえて検討・決定しております。また、学校の統合においては、特色のある学校行事や教育活動などを、どのように統合後の学校へ生かしていくかなどを含め、「沼田市立小中学校統合準備委員会」や「総務部会、教育活動部会、学校環境部会」の３つの専門部会において、保護者や地域の代表者などを交え、統合に伴う多くの項目について、協議・調整することとしております。

次に、統合によって使わなくなる学校の校舎をどうするのか、についてであります。大場 議員のおっしゃるとおり、各学校にはそれ

ぞれ歴史があり、地域に根差した大切な財産でありますので、安易に取り壊していくという考えはありません。しかしながら、学校施設の維持管理には多額の費用を要するほか、老朽化がさらに進めば建物等の改修工事も必要となることから、施設の老朽具合や周辺環境への影響など、各施設の状況に応じた有効活用が図られるよう、市長部局と連携しながら、適切に対応してまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、大場 奈維 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 観光客を増やすためのSNSの利用について

ただいまの 渡辺 ゆずり 議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市を目的に来ていただく観光客を増やすためのSNSの利用について、ではありますが、本市には「沼田まつり」や「沼田花火大会」などの大きなイベントや自然の宝庫である「玉原高原」、天狗の霊峰である「迦葉山」、国の天然記念物である「吹割の滝」といった観光地が数多くあります。

それらを多くの皆様に効果的に伝え、さらに多くの方々に本市を訪れていただけるよう、様々な観光キャンペーンや情報発信を行っております。

現在、市や沼田市観光協会のホームページ、インスタグラム及び、X（エックス）などを活用し、イベントや桜などの開花情報、観光果樹園のオープンなど、タイムリーな情報発信に努めているところでありますが、本市の魅力を積極的にアピールし、今まで以上に多くの方

々にご覧いただき、「沼田市へ行ってみたい」と思っていただけるよう、努めてまいりたいと考えております。

また、沼田市には観光地の他にも、渡辺 議員おっしゃるとおり、文化や食など、数多くの魅力がございます。これらにつきましても、迅速かつ正確に、更には、わかりやすい情報提供と、魅力ある情報発信の双方を念頭に置きながら、引き続きホームページやSNSなどによる、効果的な情報発信に努めてまいります。

以上、申し上げます、 渡辺 ゆずり 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 姉妹都市について

ただいまの 山田 柑菜 議員のご質問にお答え申し上げます。

姉妹都市のことを色々な人に知ってもらうための「姉妹都市交流祭り」の提案について、であります。沼田かるたに「山の沼田 海の下田と 姉妹都市」とありますように、下田市蓮台寺温泉に伝わる天狗伝説と、沼田の迦葉山天狗のご縁から、昭和４１年５月に「文化・社会・経済の交流により、相互の理解と親善を深め、地域社会の発展に寄与する」ことを目的に、姉妹都市提携を締結いたしました。

以来、下田黒船祭と沼田まつりへの相互訪問や、小中学生による交歓絵画展の開催、広報紙による相互情報発信など、様々な分野における交流を行い、友好関係を深めてきたところであります。

また、農業まつりなどでは、お互いの特産品等の販売を行い、下田市のおいしい干物や海苔、フルーツやジャムなどの販売も行われております。

このように、市民や団体などの交流を始め、両市のお祭りやイベント等への参加、出展を行っておりますが、姉妹都市であります下田市のことを、より多くの方に知っていただくため、山田 議員にご提案いただいた内容を踏まえまして、引き続き、両市の交流事業に取り組んでまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、山田 柑菜 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 お年寄りに優しい社会 介護の充実

ただいまの 大岡 梨乃 議員のご質問にお答え申し上げます。

お年寄りに優しい社会 介護の充実について、であります。少子高齢化や核家族化などにより、介護サービスの利用は右肩上がりに増加し、全国的に介護人材の不足が課題となっており、このことは、本市においても例外ではありません。

一方、本市では、「生き生き長寿のまちづくり計画」を策定し、将来における高齢者人口や介護サービスの見込み量を推計することにより、必要なサービス提供体制の確保に努めており、現在、デイサービスにつきましては、希望された施設でご利用いただける状況であります。

また、大岡 議員のおっしゃる大きな施設につきましては、規模の拡大により、業務の効率化が図られるなど、運営面等においてメリットがあるとされておりますが、規模が小さくても、多様なサービス提供者による特色を持った施設が地域に複数あることは、利用者が自分

に合った施設を自由に選択できるという面で、大切なことであると考
えております。いずれにしましても、必要な時に必要なサービスが提
供されるよう、引き続きサービス供給体制の充実に努めてまいります。

また、介護について学べる体験や講座について、であります。本
市では、子どもの頃から福祉について考えることで、思いやりと優し
さの心を育み、福祉への理解につながるよう、福祉教育・福祉体験学
習を推進しており、大岡 議員のおっしゃるとおり、介護に関わる人
や興味を持つ人が増え、地域の皆さんがお互いに助け合うことで、高
齢者やその家族が安心して生活できる沼田市にしていきたいと考えて
おります。

以上申し上げまして、大岡 梨乃 議員のご質問に対する答弁とさせ
ていただきます。

1 市やコミュニティセンターができる若者が帰ってくるための
取り組みについて

ただいまの 篠原 晃司 議員のご質問にお答え申し上げます。

市やコミュニティセンターができる若者が帰ってくるための取り組みについて、であります。沼田市では、人口減少の克服と地方創生に取り組むため、「沼田市デジタル田園都市国家構想総合戦略」という計画を策定いたしました。その中で、「稼ぐ地域をつくり、安定した雇用を創出する」、「つながりを築き、新しい人の流れをつくる」、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる」という４つの基本目標を設定し、それらの実現のために様々な事業を展開しております。

ご質問の「若者が帰ってくるための主な取り組み」といたしましては、若者が働ける場所を増やすため、沼田横塚産業団地の整備を進めるとともに、市内で事業用の施設の新設や増設を行ったり本社機能に移転する企業に対して、助成金や固定資産税を一定期間免除する制度

を設けるなど、企業誘致に力を入れております。

また、仕事を求めている若者に対しましては、企業ガイドの作成や企業ガイダンスを開催するなど、地元企業をピーアールする機会を設けております。

川田地区コミュニティセンターにおきましては、各町の区長さんが委員となっている団体、「ふれあいカワダ会」を中心に、卓球教室の開催や小学校運動会における「ふれあい競技」の実施、様々なボランティア活動など、地域団体との連携・協力のもと、川田地区の地域づくりに取り組んでおります。

今後も、川田地区の良いところや地域のつながりを大切にし、若者が暮らしたくなる、魅力的な地域づくりを進めてまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、篠原 晃司 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 子どもたちの笑顔と健康を守る屋内公園を

ただいまの 栗原 ここ音 議員のご質問にお答え申し上げます。

子どもたちの笑顔と健康を守る屋内公園を、についてであります、
現在、沼田市では「スポーツを目的とした運動公園」、「様々な利活用をするための総合公園」、「近隣住民のための街区公園」など、17箇所の都市公園を管理しており、安全に誰もが、憩いの場としてご利用いただけるよう施設の更新や維持管理に努めているところであります。

栗原 議員のおっしゃるとおり、近年、深刻化している夏の猛暑により、熱中症の危険が高まり、以前のように気軽に屋外の公園で遊ぶことができないような状況となっております。

栗原 議員のおっしゃる、天候などに左右されない屋内公園を整備することは、子どもたちの笑顔と健康を守り、人と人をつなぐ大切な「居場所づくり」につながる、大変重要かつ魅力的なアイデアとして

認識しますが、現在、沼田市にある、冷房が整備されている「テラス沼田内の子ども広場」や「ザクロスアリーナぬまた」、「市立図書館」、「市民プール」などの利用で、親子で楽しく過ごしていただければと考えております。

また、新たな屋内公園の整備につきましては、利用者の声を聞きながら、将来の人口の推計や求められる効果、必要性なども考慮しながら、長期的な視点で検討を進めてまいります。

引き続き、沼田市のまちづくりにご関心をお寄せいただき、若い視点からのアイデアをいただければ幸いと考えております。

以上申し上げまして、栗原 ここ音 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 池田小学校の活用方法

ただいまの 大河原 咲花 議員のご質問にお答え申し上げます。

池田小学校の活用方法について、であります。池田小学校は薄根小学校と令和９年度に統合する予定であり、現在の池田小学校の校舎を含めた学校施設は、令和８年度末をもって学校としての役割を終えることとなります。本市におけるこれまでの学校施設の跡地活用につきましては、学校以外の教育財産としての転用や、教育財産としての用途を廃止し、民間事業者への貸し付けを行うことにより、公有財産の有効活用に努めてきたところであります。

大河原 議員のご認識のとおり、学校施設は、教室ごとに仕切られた特徴的な空間と静かな環境を備えており、全国的には廃校となった学校施設の多くが、地域の交流拠点や、観光振興を目的とした宿泊施設などとして活用されております。

現時点で、池田小学校校舎の今後の活用方法は決定しておりません

が、在校生や地域住民の皆様にとって関心が高い事項であると認識しておりますので、地域の実情に配慮しつつ、市長部局と連携しながら、有効活用に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、大河原 咲花 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 沼田市内の再開発について

ただいまの 大竹 芙由美 議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市内の再開発について、であります。大竹議員がおっしゃるとおり、沼田市の中心市街地は、かつては利根沼田の中心的な商店街として栄えていましたが、シャッターが降りている商店が増えてきています。そのような状況の中、現在沼田市では、本町通りを中心としたエリアで公共施設の整備改善と土地の有効利用・高度利用の促進、商業、居住、交流等の都市機能の充実を図るため土地区画整理事業を進めており、上之町のエリアでは、天狗プラザの整備や歴史的な建造物を集積したエリアの整備などにより、観光や交流による人の流れが出始めています。また、空き店舗の活用につきましても、創業支援の観点から沼田商工会議所と連携した事業を進めており、今後も若い人や子育て世帯が集まれる場所づくりを促進していければと考えております。

大竹 議員がおっしゃった前橋市につきましては、地方創生の観点から全国的にも注目を浴びている民間企業が中心となって、まちづくりに取り組んでいる事例であり、今後もまちづくりは行政だけでなく、民間企業や地域住民の力が非常に重要になってくるものと考えております。

沼田市においても、ソフト事業などでは、市内小中学生や高校生などに活躍いただいているところではありますが、今後も行政、民間企業、地域住民が一体となり、参加しやすい活気のあるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、大竹 芙由美 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 資源ゴミの回収について

ただいまの 生方 杏璃 議員のご質問にお答え申し上げます。

資源ゴミの回収について、現在の２週間に１回を、１週間に１回回収するという提案ではありますが、まず、生方 議員のご家庭ではゴミをしっかりと分別していただき、感謝申し上げます。

さて、生方 議員のおっしゃるとおり、ペットボトルや段ボールなどの資源ゴミは、ペットボトル飲料の消費拡大、インターネット通販の普及に伴い、家庭内から排出する量が増加しております。

そのため、一時保管の負担が大きくなっているというご意見は、市としても十分認識しております。

資源ゴミの回収を週１回に増やすことにつきましては、利便性の向上が期待される一方で、収集車両の運行回数が増えることで、排気ガスによる二酸化炭素の排出量が増加し、環境への負荷が高まる恐れがあります。さらに、現状の２倍の収集回数となることで、費用の面や、

収集を行う会社の体制面にも大きな影響を与えることから、慎重に考えていく必要があると思っております。

そのため、市では現行の回収体制を維持しつつ、他の手段もご活用いただくことをお願いしております。例えば、市が行っている「有価物集団回収事業」では、自治会や子ども会、学校などの団体が段ボールやアルミ缶、ビールビン、雑誌などの有価物を回収する活動に対し、補助金を出して応援しているところです。

また、マイバッグやマイボトルを利用するなど、そもそもゴミを出さない「リデュース」の取り組みも、ゴミの削減にとって重要な役割を担っていると考えております。

その他、民間事業者の取り組みとして、市内のスーパーマーケットなどでは、ペットボトルや段ボール、食品トレイなどの「店頭回収」を実施しているお店もあります。こういった取り組みもご利用いただきながら、家庭での保管量を減らし、資源の有効活用を進めていただきたいと考えております。

今後も、市民の皆様の生活実態やご意見を参考に、環境への影響と

利便性のバランスを考慮した資源回収体制のあり方を検討してまいります。

以上申し上げまして、 生方 杏璃 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 コミュニティセンターを中核とした地域の活性化と廃校となる校舎の利活用について

ただいまの 小野 琉煌 議員のご質問にお答え申し上げます。

コミュニティセンターを中核とした地域の活性化と、廃校となる校舎の利活用について、であります。小野 議員は、毎日のように通学されている学校に愛着を持たれ、とても大事なものとしてお考えいただいているのだと思います。誠にありがとうございます。

現在、令和９年度の池田小学校と薄根小学校の統合及び、池田中学校と薄根中学校の統合に係る「沼田市立小中学校統合準備委員会」を開催しており、教育委員会と地域住民の皆様が、子どもたちのためのより良い教育環境づくりについて、真剣に話し合いを進めているところであります。

廃校となる校舎は、市にとっても、市民の皆様にとっても貴重な財産でありますので、地域全体の活性化につながるよう、最も有効な活用方法の検討をしてまいりたいと考えております。

また、小野 議員より、池田小学校及び中学校が廃校となった後の建物の利活用について、「テーマパーク」や「道の駅」、「宿泊施設」などとして活用したらどうか、というご提案をいただきましたが、小野 議員のように、「こうなったらいいな」と考えていただける皆さんの思いこそが、この池田地区をはじめ、沼田市の未来をつくる大きな力になるのだと思いますので、皆さんのような若い世代の柔軟なアイデアやエネルギーを、是非とも沼田市の更なる発展のためにお貸しくさせていただきますようお願いいたします。

以上申し上げまして、小野 琉煌 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 沼田市の子どもたちに伝えたい、学校教育における取り組み

ただいまの 釘宮 さわ 議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の子どもたちに伝えたい、学校教育における取り組み、についてではありますが、少子化及び人口減少が進む中、本市におきましては、未来を担う子供たちが、自分の生まれ育ったふるさと沼田を知り、よさを学ぶことで、地域を愛し親しむ心、地域を誇りに思う心を育むことを目的に、「ぬまた未来創造学」という、ふるさと学習を推進しているところであります。

具体的には、発達段階に応じて学びを工夫し、幼稚園では、地域の農園で様々な果物を収穫するなどの体験活動を充実させております。

小学校においては、４年生全員が参加する「たんばら・森^{もり}林の学校」のほか、郷土の歴史上の人物に係る劇の創作、地元の高校と連携した野菜の栽培、棚田に関わるカワニナの育成や米づくり、天狗面の色付けなど、従来の活動を見直し、学習活動の充実を図っております。

また、中学校においては、地元の観光施設の活性化に向け、関係機関の指導を仰ぎながら、ポスターやリーフレットを作成したり、本市の現状と課題に対する調査活動を踏まえ、市長とふらっとークなどの機会に改善策を提言したりするなど、体験的な学びの充実に努めているところであります。

釘宮 議員のおっしゃるように、今後も「沼田市の魅力や将来の問題」を自分事として捉え、「ぬまた未来創造学」における体験的・探究的な学びを中心に解決策等を考えることで、子供たちの夢や豊かな感性を建設的な提言に結び付け、本市のまちづくりやひとづくりに反映していけるよう、引き続き、学校・家庭・地域とが連携・協働し、学びの充実を図ってまいりたいと考えているところであります。

以上申し上げまして、釘宮 さわ 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 沼田市の将来の計画に関すること

ただいまの 田村 陸浩 議員のご質問にお答え申し上げます。

まず、沼田市への移住について、であります。沼田市では、移住者を増やすために、東京など首都圏で開催される地方への移住希望者を対象とした「移住相談会」に積極的に参加し、本市が有する大自然や歴史、暮らしぶりなどをPRすることによって、まずは沼田市を知っていただき、興味を持っていただくことに努めており、そういった方々が将来的に本市への移住につながるよう努力してまいりたいと考えております。

また、働く場所に関するご質問であります。現在、本市では、「沼田横塚産業団地」の整備を行うなど、企業の誘致を積極的に進めており、これによって新たな雇用の創出などが見込まれるほか、関連する産業の連携など6次産業の展開なども考えられます。

なお、本市への移住者数について、であります。資料として残っ

ている平成２８年度から令和６年度までの本市への移住者数は、１０
８人となっております。

以上、申し上げます 田村 陸浩 議員のご質問に対する答弁とさ
せていただきます。

1 自然を活用した沼田市の活性化について

ただいまの 吉澤 花音 議員のご質問にお答え申し上げます。

自然を活用した沼田市の活性化について、であります。吉澤 議員がおっしゃるとおり、若者向けの施設や働く場所が少ない、といった声は、よく耳にすることがあります。本市では、本格的な人口減少が進む中、様々な課題に対し一体的に取り組むため、「沼田市デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定し、若者が住みたいと感じる街づくりのための施策として、働く場所を創出するための企業誘致などに取り組んでおります。

本市には、「吹割の滝」や「玉原高原」、「河岸段丘」をはじめとする自然豊かな観光資源が多くあり、「沼田公園」や「迦葉山」などの自然と歴史が調和した観光資源もあります。また、「沼田まつり」や「沼田花火大会」など、市内外から多くの方々が参加してくださるイベントもあります。これらの資源を活用して、本市の魅力を広く、

多くの皆様に伝えることにより、本市の認知度の向上や一層の来訪機会が創出されるものと考えておりますので、より効果的なSNSによる情報発信にも努めてまいります。

また、新たなイベントの立ち上げや、魅力的なイベントの開催には、皆様の協力が不可欠です。現在お示しできる新たなイベントの企画はございませんが、引き続き、皆様のご意見を伺いながら、若者が住みたい、住み続けたいと思える街づくりにつながるよう、本市の活性化に努めてまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、吉澤 花音 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 吹割の滝について

ただいまの 星野 花奈 議員のご質問にお答え申し上げます。

まずは、吹割の滝の安全性について、であります。昨年7月、片品川の急激な増水によって、吹割の滝を訪れた観光客の方々が取り残されるという事案が発生いたしました。

幸い、ケガをされた方もなく、全員無事に救出されましたが、お客様の安全確保を第一に考え、警備員の増員や滝周辺のバリケード設置といった対策を講じました。

また、最近では、クマなどの獣の目撃情報が増えていることから、注意喚起の看板の増設や、必要に応じて立ち入り禁止措置を取るなど、対策を強化しております。

次に、パンフレットの更新、遊歩道やトイレといった施設や周辺の整備などについて、であります。まず、パンフレットにつきましては、現在、夏と秋の2種類を使用しているところですが、内容の見直

しや、見やすさの向上など、検討してまいりたいと考えております。

また、遊歩道やトイレといった施設につきましては、安心安全、快適に利用いただけるよう留意しており、適宜、修繕・改修を実施しているところですが、星野 議員からのご提案につきましては、関係機関・団体等からのご意見なども参考に、慎重に研究してまいりたいと考えております。

また、吹割の滝につきましては、市や観光協会のホームページ、インスタグラム、X（エックス）などのSNSによってPRを行っておりますが、多くの方々に閲覧いただき、お越しいただけるよう、強化を図ってまいりたいと考えております。

以上、申し上げまして、星野 花奈 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 沼田市が設置する自習室の工夫・改善について

ただいまの 小林 湊子 議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市が設置する自習室の工夫・改善について、であります。本市においては、テラス沼田の空き会議室やフリースペースを自由に使えるように開放しておりますが、利用に当たっては、他の利用者の迷惑にならないようお願いしているところであります。ご質問の「図書館やテラス沼田の自習室ではなく、より自由に利用できる中高生や若者向けの交流スペースの設置」につきましては、現段階では検討を行っておりませんが、家庭や学校以外で、若者が安心して過ごせる居場所を提供することで、多様な交流を通じて青少年の健全育成や孤立防止が期待できるほか、悩みや困りごとなど、青少年からの支援ニーズについて、早期察知、早期相談参入の機会になると考えられることから、とても大切なことであると認識しております。

群馬県内でも、勉強やおしゃべり、仮眠など、誰でも自由に無料で

利用できる居場所をコンセプトにした交流スペースや、ボランティア活動など若者が地域社会との関わりを持つきっかけ作りを目的とした交流スペースなど、設置の目的や場所は様々であるものの、若者の交流スペースが設置される事例があることから、今後、そうした事例を参考として研究してまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、 小林 湊子 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 人々が安全に暮らすための道路の修復について

ただいまの 小林 杏珠 議員のご質問にお答え申し上げます。

人々が安全に暮らすための道路の修復について、今後、沼田市が道路の修復をどのように行っていくのかについて、であります。沼田市が市道として認定している道路は約 1,410 km あり、これら市道については、車両の通行や自然環境による劣化から、道路利用者などの安全性や快適性が損なわれることのないよう、定期的な維持修繕が必要であると認識しております。しかし、限られた予算の中で、全ての箇所を適切な時期に修繕することは極めて困難であり、市道の維持管理体制は大きな課題となってきました。

そのため、交通量の多い主要な道路につきましては、「舗装長寿命化修繕計画」を策定し、トータルコストの削減と予算の平準化を図り、計画的な舗装の維持管理に努めております。

また、それ以外の道路につきましては、職員による日常のパトロー

ルに加え、区長さんや市民の皆さまからの情報に基づき、速やかに修繕や補修工事を行い、歩行者や自転車、通過交通等の安心安全の確保に努めております。

道路の白線につきましても、道路パトロールや町からの要望、毎年行われる警察や学校との通学路の合同点検等を踏まえ、見えづらい部分を中心に引き直しを行い、交通事故の防止に努めております。

このように、道路の修繕や補修、白線などの工事につきましては、財政状況を勘案しながら、緊急性や重要性の観点から、他の道路事業との優先順位を総合的に考慮し、実施してまいりたいと考えております。

以上、申し上げまして 小林 杏珠 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 活気ある沼田にする街づくり

ただいまの 金井 詩瑛奈 議員のご質問にお答え申し上げます。

活気ある沼田にする街づくりについて、であります。金井 議員がおっしゃるとおり、沼田市でも高齢化が進んでおり、活気あるまちを維持していくことは、喫緊の課題であると認識しております。

このような状況の中、沼田市全体を活気あるまちにするための「沼田市第六次総合計画」を策定し、様々な事業に取り組んでおります。

また、金井 議員が、主にご利用いただいている中心市街地につきましては、かつては利根沼田の中心的な商店街として栄えていたが、今後は、商店に加えテラス沼田や図書館などの公共施設を中心拠点として捉え、様々な人々が集い、多世代で交流する機会を増やし、市民全体で活気のあるまちづくりを進めていきたいと考えております。

地域経済の観点では、企業誘致や起業の支援にも注力するとともに、若い世代が活躍でき、経済活動しやすい環境整備を行い、安心して働

き、暮らし続けられるまちづくりに取り組んでいるところであります。

金井 議員の地域の方々との交流を大切にされている姿勢も、まちづくりにとって非常に重要だと考えております。ぜひ、これからも、沼田市のまちづくりに関心を持ち続け、ご意見やアイデアをいただければ幸いと考えます。

以上申し上げまして、 金井 詩瑛奈 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 安全な吹割の滝により多くの観光客を

ただいまの 小林 葉奈 議員のご質問にお答え申し上げます。

利根町にある吹割の滝は、国の天然記念物に指定されるとともに、「日本の滝百選」にも選定されており、年間８０万人もの観光客が訪れる、本市最大の観光地であります。

利根小学校側と吹割の滝側を安全に横断できるように、現在、追貝駐在所前に信号機とともに横断歩道が設置されているほか、その北側には地下道がありますが、まずは、信号を守り、横断歩道を渡ること、地域の方々や観光客の皆さんにあらためて周知し、交通マナーの向上を図ることにより、交通事故防止に努めてまいりたいと考えております。

小林 議員のおっしゃる、歩道橋の設置要望につきましては、本市の地域安全課や沼田警察署、道路管理者など、関係機関・団体とも情報を共有し、その必要性などを慎重に検討するとともに、一層の交通

事故防止に努めてまいりたいと考えております。

これからも皆様のご意見を聞きながら、地域の方をはじめ、観光で訪れる方々も安全に生活や観光ができるよう、取り組んでまいりたいと考えております。

以上、申し上げまして 小林 栞奈 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 多那小・中学校統合後の跡地利活用について

ただいまの 小林 朋己 議員のご質問にお答え申し上げます。

多那小・中学校統合後の跡地利活用について、であります。統廃合後の学校施設の利活用は、在校生や地域住民の皆様にとって、極めて関心が高い事項であると、改めて認識したところであります。

小林 議員もご承知のとおり、近隣の自治体では、統合によって使わなくなった校舎を宿泊施設としたり、民間事業者へ貸し出したりするほか、やむを得ず取り壊しとなった事例もございます。多那小学校の校舎は、建築から５０年以上が経過し、老朽化が進んでおりますが、単なる学校施設だけでなく、地域コミュニティの核として、地域の歴史や思い出が詰まった建物でもあると認識しております。一方、多那中学校の校舎は、建築後１５年程度の経過で比較的新しく、コンパクトで機能的な建物であることから、今後の利活用の可能性も多様であると考えております。

本市ではこれまで、老朽化が著しく、安全面等に課題がある校舎につきましても、やむを得ず解体した事例もありますが、多那小・中学校を含め、学校の統合によって役割を終える学校施設の利活用につきましては、施設の老朽具合や周辺環境への影響など、各施設の状況に応じた有効活用が図られるよう、市長部局と連携しながら、適切に対応してまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、 小林 朋己 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 沼田市の子育て施策について

ただいまの 萩原 大凱 議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の子育て施策について、であります。子育て支援のデジタル化や、申請のオンライン化につきましては、現在、マイナポータルによる「ぴったりサービス」を活用した児童手当の申請や、扶養している３人目以降のお子さんの保育料及び副食費を無料にする申請、産後ケア事業の申請など、一部の申請において、既にオンライン申請を活用しております。

また、公立保育園では、保護者への連絡方法に民間のアプリを活用し、普段のお知らせだけでなく、緊急の連絡もすぐに保護者に伝達できるよう対応しております。

申請される方の利便性や事務の効率化を考えると、業務のデジタル化や申請のオンライン化は、必要性のあるものと認識しておりますので、対応可能な手続を拡大できるよう、研究してまいりたいと考え

ております。

なお、ご提案のありました「保育施設の利用申請」につきましては、オンライン申請を導入している他の自治体によりますと、保育施設の利用申請は、お子さんやご家庭の状況など記入する項目が多く、30分から1時間の入力時間がかかり、入力間違い等による電話確認も多いなどの課題もあると聞いており、申請される方の負担を減らすことができるよう、今後も継続して研究してまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、萩原 大凱 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 沼田の観光の活性化について

ただいまの 星野 喜咲 議員のご質問にお答え申し上げます。

星野 議員がおっしゃるように、本市は多くの自然に恵まれ、たんばらスキーパークやラベンダーパーク、国指定の天然記念物である吹割の滝や老神温泉のほか、天狗の霊峰として知られる迦葉山といった多くの観光資源に加え、ブルーベリーやサクランボ、ブドウやりんごなど、年間を通じて果物狩りを楽しむことができることから、お子様からご高齢の方々まで、多くの観光客に訪れていただいております。

ご質問の「子どもが楽しめる施設や体験の場」といった施設を作る計画は現時点ではございませんが、星野 議員がおっしゃるような施設や機会を作るというご提案は、本市への観光客増加や子育て環境の充実といった面において非常に重要であると考えますので、慎重に検討させていただきたいと存じます。

現在、本市では、様々なイベントやキャンペーンを行い、観光の推

進や関係人口の創出・拡大など、地域の活性化のための事業に取り組んでいるところであり、引き続き、市民や関係する団体の皆様と連携を図り、ご意見を伺いながら観光の活性化に努めてまいりたいと考えております。

以上、申し上げます。星野 喜咲 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

1 よりたくさんの人が使える図書館へ

ただいまの 志賀 結月 議員のご質問にお答え申し上げます。

よりたくさんの人が使える図書館へ、についてであります。市立図書館では、図書館資料の充実に努めるとともに、２階と３階の閲覧室には、図書館の本を読んだり、調べものをしたりするための席を用意しており、友達と本を読んで、『調べ学習』をするスペースとしても利用することができます。

「図書館の中で静かにする所と話しても良い所を区別することで、たくさんの人が図書館を利用できるのではないか」とのご意見につきましては、近年、利用目的によって、スペースを区分している図書館もありますが、市立図書館の２階一般閲覧室と３階児童閲覧室は、ワンフロアとなっているため、すぐに区分することは困難な状況です。

市立図書館では、本を読んで、その内容について友達と話し合っても構いませんが、一方で静かに読書を楽しみたい方もおりますので、

皆さんが気持ちよく図書館を利用できるように、ご理解とご協力をお願いしているところであります。

また、状況により、図書館を利用することが心配な場合には、図書館の職員が可能な限りサポートいたしますので、ご相談いただきたいと思います。

市立図書館では、文学作品はもとより、哲学、歴史、自然科学、産業、芸術など、皆さんの『知りたい』を解決できるよう、幅広い分野の本を収集し、相談に対応できるようサービスの向上に努めております。

志賀 議員ご提案の「よりたくさんの人が利用できる図書館」となるように館内利用についても研究し、『市民の皆様の身近な本棚』として、たくさんの人が図書館に足を運び、本と触れあっていただけるように、努めてまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、志賀 結月 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。